

内視鏡検査時の静脈麻酔（鎮静剤）注射の使用について

～説明と承諾書～

【目的】

- ◆ 当院では内視鏡検査を行う際に苦痛や不安を少なくする為に、ご希望の方には静脈麻酔（鎮静剤）の注射を行っております。

※ 静脈麻酔（鎮静剤）の効果は個人差が大きく、頭がボーッとする程度の方もいれば、完全に眠ってしまう方もいます。

日常向精神薬の内服があれば効果が少ないこともまれにあります。

【副作用・偶発症】

- ◆ フラツキや転倒 検査終了後、眠気が残り足元がふらつくことがあり、転倒の恐れがありますので、1～2 時間程休んでからお帰り頂きます。
- ◆ 静脈麻酔（鎮静剤）によって呼吸が弱くなることがあります。（呼吸抑制）血中酸素濃度を測定しながら十分注意して検査を行います。
- ◆ 酔っ払ったとき同様、注意力の低下や細かい判断が鈍くなったりします。また、薬が効いている間の記憶が残らないで、全く覚えていない方もいます。（注意力低下、逆行性健忘）
- ◆ まれに血圧低下やショック状態、意識レベルの低下がもたらされていることがあります。消化器内視鏡関連の偶発症に関する全国調査によりますと、2003 年～2007 年の偶発症における死亡例は 0.00002%という結果が出ています。

【注意点】

- ◆ 静脈麻酔（鎮静剤）を使用した場合、自転車・バイク・車の運転は危険です。完全に眠気やフラツキなどなくなり、全くの正気になるまで運転が出来ません。
- ◆ 転倒防止のため、検査後は十分休んでから帰宅して頂いています。お帰りを急がれる場合は、静脈麻酔（鎮静剤）が使用出来ません。

~~~~~

以上、静脈麻酔（鎮静剤）使用による利点と欠点・危険性を十分理解した上で

静脈麻酔（鎮静剤）の使用を （ 希望します ・ 希望しません ）

※ どちらかを○で囲んで下さい。

署名年月日：                      年              月              日

患者本人署名 \_\_\_\_\_

代理人 署名 \_\_\_\_\_

（続柄                      ）